

佐賀建設新聞

発行所

株式会社 建設新聞社

〒849-0301

小城市牛津町乙柳1145-7

TEL 0952-66-5750 (代)

FAX 0952-66-5751

購読料 月額5,775円(税込)

毎週火・木・土曜日発行

社団法人日本専門新聞協会会員

ホームページ

<http://www.kensetsunews.co.jp>

e-mailアドレス

kssaga@lime.ocn.ne.jp

ミラクル工法の普及を促進

ミラクルソル協会総会

ガラス廃材を再利用・再資源化した多目的環境材料「ミラクルソル」の建設分野での有効利用を推進するミラクルソル協会(原裕理事長＝写真)は12日、東京都千代田区のKKRホテル東京で総会を開き、技術講習会や現場見学会・研修会など

を通じたミラクルソル工法の普及促進、官公庁・コンサルタントへのPR活動などを盛り込んだ2009年度の事業計画を決めた。

ワインビンなどの廃材を約900度で焼成して作る多孔質間隙構造のミ



ラクルソルは、強固な軽量材料として、建設のさまざまな分野で活用できる。吸水性・保水性に優れたタイプは屋上や岩盤斜面緑化用の保水材、非吸水性のタイプは軽量盛土材・軽量骨材・地盤改良材の建設材料などに使用されている。

原理事長は「われわれ地方の建設企業は、常に自然と向き合い仕事をしている。ミラクルソルを用いた環境緑化や環境土木など各種工法を環境ビジネスに結び付け、それぞれの地域で選ばれたる会社になってほしい」と会員

に呼び掛けた。

09年度は「第13回ミラクルソル工法技術研修会」を、8月27日に福岡県のアクロス福岡で開催。また、技術研修会に合わせて「ミラクルソル工法概要集」を改定する。官公庁、コンサルタントへの設計支援・協力も行う。

総会後、原理事長が「2008年の活動と環境緑化・環境土木工法の最近の取り組み」について説明。また、同協会顧問で佐賀大学低平地研究センター長の荒木宏之教授が「機能性材料ミラクルソルが水環境の解決に果たす役割」をテーマに講演した。